

(様式第2号)

## SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和4年 8月 22日  
住 所 埼玉県さいたま市中央区本町西6丁目5-11  
県内企業等の名称 日本フルーツ加工株式会社  
代表者役職氏名 代表取締役 鶴身 忠司

日本フルーツ加工株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた  
取組方針を下記のとおり宣言します。

### 記

#### SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

世の中を取り巻く様々な問題や課題に対して、利益の追求のみではなく、取引先をはじめ地域社会に、当社が考える持続可能な取組を实践する。この考え方をもって、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	電気使用量の削減のため、工場内照明のLED化を図る。 <2021年実績> ①工場内のエネルギー使用量: 72,000kwh/年 ②工場内のLED化率 5%	<2030年に向けた指標> ①エネルギー使用量 63,000kwh/年 ②LED化率 50% <取組開始3年後に向けた指標> ①エネルギー使用量 68,400kwh/年 ②LED化率 20%
社会	リスク管理の徹底とワークライフバランスの実現を継続しつつ、会社周辺の美化活動の取り組みを行う。 <2021年実績> 美化活動 0回/年・のべ0人	<2030年に向けた指標> 2回/年・のべ10人 <取組開始3年後に向けた指標> 1回/年・のべ5人
経済	フードロス対策を講じた、安定した食品の提供体制を継続。働き方改革を推進し、従業員の年次有給休暇の取得日数を増やす。 <2021年実績> 有給休暇 平均取得日数 8日/年 (従業員数 9名)	<2030年に向けた指標> 平均取得日数 12日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 平均取得日数 10日/年

#### 【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。